

津山文化

津山市文化連盟

会報

第 17 号

ごあいさつ

勝北文化協会 会長



上高 進

勝北文化協会では、一人一文化をキャッチフレーズに住民総参加を目指し頑張っています。

少しでも勝北地域の文化を多くの人々に知っていただくため、勝北舞保存会が中心になり、勝加茂小唄や新野音頭など、郷土色のある民謡の普及活動や古文書の解読、勝北地域にある文化財を若い人々に継承していかなければならないと考えています。

今私たちは、合併して15年以上経過し、市民としての意識も根付き、市域としての一体感が醸成されてきていますが、一方では高齢化も進み、多彩なグループの活動にも影響が出てきている中で、地域における文化は一長一短ではできません。

やはり息の長い文化活動を行っていくには、若い世代といかにして手をつなぎ継承していくかということが大切であり、今、その時代にかかっていると考えています。

勝北文化協会では、「春の文化祭」「常設展示」など、多彩な発表の機会をつくり、少しでも文化活動が市民の方々の目にとまるよう努力しています。

津山まちじゅう博物館と言われていますが、勝北地域も一人一文化活動を大切に、より一層文化協会の皆さんと手を取り合って、地域の活性化と文化の伝承を若い人々に繋げていきたいと思っています。



津山市文化協会

2022年は創立70周年を迎え、お
かやま県民文化祭とも連携し記念事業
「津山芸術文化祭」の開催や、「西東三
鬼ふるさと俳句投句函」などの事業を
行いました。コロナ禍により様々な制
限を受けてきましたが、徐々にですが
活動が活発にできるようになりました。
今後も津山市の芸術文化の発展のため
会員相互に協力し合い活動を続けてい
きます。

津山芸術文化祭

70周年記念事業として展示会とステ
ージ会に分かれ開催しました。
展示会では、絵画や短歌、俳句、書
道、華道など様々な分野の13団体が参
加し、約130点の作品展示を行うと
ともに、造形のワークショップを開催
するなど、多くの来場者の方に会員の
作品をお楽しみいただきました。
ステージ会では、音楽やミュージカ
ル、踊り、太鼓、朗読などの9団体が

参加し、ジャンルを問わない多彩な発
表により、大人から子供まで楽しめる
ステージとなりました。

【展示会】

日時 令和4年10月29日（土）

～30日（日）

場所 津山市地域交流センター

（アルネ津山4階）

【ステージ会】

日時 令和4年11月13日（日）

場所 バルフオーレ津山

（アルネ津山7階）



文化講座・研修会の開催

文化講座・研修会事業は、新型コロ
ナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、
中止としました。

西東三鬼の

ふるさと俳句投句函

令和4年度入選作品

■ 一般の部

- ・ 参道に風の形や花吹雪
- ・ 我の立つ位置が正面桜咲く
- ・ 梅薫る宙の懐し津山駅
- ・ 津山城うすくれなゐに初桜
- ・ 宇田川も箕作もいし花の町
- ・ 花の降る町の酒蔵巡りかな
- ・ 入り口の消毒液に笑まふ雛
- ・ 初蝶のうれしくてもう壊れさう
- ・ 古びたる賽銭箱へ落花かな
- ・ 神鈴の緒のゆれてはいる桜時
- ・ 入学を待ち切れず咲く桜かな
- ・ 玄随のすこし猫背の猛暑かな
- ・ 万緑の中心として御神木
- ・ 空蟬や古木がしりと掴みおり
- ・ 開襟をつまみふわつと涼をとる
- ・ 戻り梅雨津山の空を隠しけり
- ・ 曇天を呑んで吐き出す鯉幟
- ・ 長々と猫の寝そべる夏座敷

(令和4年4月締め切り)

鏡野町	三木	春女	特選
津山市	岡田	邦男	特選
滋賀県	いしかわ	つよし	
滋賀県	奥村	叡水	
津山市	杉山	武明	
鏡野町	藤田	明子	
鏡野町	中谷	淳子	
京都府	米澤	響子	
鏡野町	西村	泉	
鏡野町	高原	喜久子	
鏡野町	三木	章	
(令和4年8月締め切り)			
津山市	杉山	武明	特選
鏡野町	西村	泉	特選
鏡野町	藤田	明子	
鏡野町	三木	章	
滋賀県	いしかわ	つよし	
広島県	岸	直人	
鏡野町	西村	なほみ	

投句函選考委員会

委員長 生田恵美子
委員 武本 節子

沢 紅子
福島 徑子

- ・ 店番の声ほがらかや夏囁
- ・ 境内に会釈くれたり白日傘
- ・ 内緒ごと包む桔梗の蕾かな

(令和4年12月締め切り)

鏡野町	三木	春女	特選
津山市	岡田	邦男	特選
滋賀県	いしかわ	つよし	
滋賀県	奥村	叡水	
津山市	杉山	武明	
鏡野町	藤田	明子	
鏡野町	中谷	淳子	
京都府	米澤	響子	
鏡野町	西村	泉	
鏡野町	高原	喜久子	
鏡野町	三木	章	
(令和4年4月締め切り)			
鏡野町	三木	章	特選
津山市	岡田	邦男	特選
滋賀県	いしかわ	つよし	
滋賀県	奥村	叡水	
津山市	杉山	武明	
鏡野町	藤田	明子	
鏡野町	中谷	淳子	
京都府	米澤	響子	
鏡野町	西村	泉	
鏡野町	高原	喜久子	
鏡野町	三木	章	
(令和4年12月締め切り)			
岡山市	水葉		
鏡野町	三木	夏女	
鏡野町	中谷	淳子	

■ ジュニアの部

- ・ 石がきとさくらをほこる津山城
- ・ 津山城さくらまんかい人まんいん
- ・ 春がきた緑まぶしいしゅうらく園
- ・ 花々をそつとめぶかす春の風

(令和4年4月締め切り)

兵庫県	虎尾	真生	
滋賀県	奥村	しゅん	
倉敷市	秋山	えんちゃん	
兵庫県	高倉	凜香	
(令和4年8月締め切り)			
津山市	奏音		
倉敷市	ももつち		
大阪府	津山城		
(令和4年12月締め切り)			
倉敷市	ねこ		

十一月まだまだ緑赤くなれ
今年も多くの投句をありがとうございました。
津山市文化協会

令和4年度投句数 (573句)
開函以来総投句数 (24,155句)

加茂町文化協会

新型コロナウイルス感染症が流行して3年が過ぎ、いろいろな行事・活動の制限や中止が続き、諦めムードが充満する中、協会内から「中止」を常態化してはいけなのではないかという声が大きくなり、「加茂町文化祭」を縮小する形で3年ぶりに実施することになりました。

何に気を付け、どのように対策をとるか実行委員会で検討を重ね、開催にこぎつけました。

公民館を会場に、俳句・書道・日本画・水墨画・絵手紙・陶芸を展示し、文化センターを会場に、コーラス・詩吟・

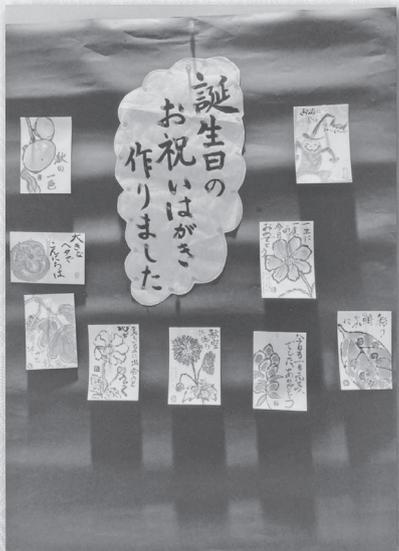
大正琴・舞踊・カラオケの発表を行いました。

実施後、多くの会員から発表の場を与えられた事や、住民から「外出の機会になった」「気分転換ができた」との声をいただきました。

公民館内の常設展示スペースには、日本画・水墨画・俳句・書道・絵手紙をシーズンに合わせて掛け替えをしています。

2年間中止していた「芸能の集い」を4月に開催を予定しています。

高齢化や様々な事情により会員数が減っていく中、今年度は新しく絵手紙のグループが加入し、少しですが活気付いているのも確かです。



阿波文化協会

今年も新型コロナウイルス感染症の拡大により活動は縮小となりましたが、春と秋のバザーをはじめ、久しぶりの加茂阿波カラオケ交流発表会とプロ歌手の公演を開催することができました。コロナ禍での開催でしたが、「やはり歌はいいなあ」と皆さんに喜んでいただきました。

また、秋にはおかやま県民文化祭の事業に併せて、第11回地域文化祭を開催しました。

準備の段階からスタッフ一同大変でしたが、色々と工夫しながら楽しく進めることができました。

手品パフォーマンスをはじめ、カラオケ発表会や地域住民による作品展示、懐かしいビデオ上映など、楽しい時間

を過ごすことができました。

そして、今年は生バンドの演奏会を開催し、懐かしいヒットソングのメロディーの数々に皆さん心が若返りました。

会員の高齢化が進んできていますが、今、私達ができる事をモットーに、楽しみながら人生の一コマを皆さんと一緒に頑張っていけたらと思っております。



勝北文化協会

思いきれ！ 立ち上がれ！ 当たり前を取り戻そう！ このように言葉にするとかのデモ隊のようですが、令和4年度になって盛んに「ウイズコロナ」・「経済を止めない」・「観光業を救う」などとアナウンスされ、マスクも外ではしない方が良いと言われるようになってきました。

バタバタと世の中が変わり始めていく中で、私たち文化協会も気持ちを持ち替える必要があるのではないかと考えました。

毎年11月に「秋の文化祭」を開催しているのですが、その文化祭を通常に近い形で開催しました。

長い長い自粛期間の中で極端に減ってしまったもの。それは「買い物」だと思いました。今回は、文化的な活動と同時に皆さんに会場に集まっていた

だくキツカケづくりのために、物産展を開催しました。

勝北地区の業者さんに参加してもらったり、個人で作品や商品を販売してくださる方を募集して出店してもらいました。

久しぶりのイベントだった為、運営委員会も準備の方法を忘れていたりなどハチャメチャなイベントでしたが、「楽しかった」という感想を多数いただきました。

初参加の業者さんからも「これからお客さんを増やして行ってほしい」と積極的なご意見を頂きました。ここからまた文化の輪を広げていきたいと思っています。



久米文化協会

〈役員会〉 令和4年4月26日、5月30

日、7月25日、9月26日

令和5年3月9日

〈総会〉 令和4年5月13日

〈ふるさと祭り実行委員会〉

令和4年5月27日、8月8日、10月

3日、10月5日、11月29日

〈合同踊り発表会〉 令和4年6月19日

〈評議委員会〉 令和4年10月5日

〈文化祭〉 令和4年10月29日～30日

〈ふるさと祭り芸能大会〉

令和4年10月30日

〈自主事業〉

谷口博章ピアノリサイタル

(6月18日(土) 15時～)

コロナ禍で2度の変更開催となりま

したが、美しい音色で癒しの旋律を奏
でられる谷口さんの魅力に、文化協会
員だけでなく、地域の方、ファンの方、
また子どもたちの参加も印象的で学び
の場にもなりました。

堀内佳コンサート

(11月20日(日) 14時～)

県民文化祭の補助事業として、津
山っ子を守り育てる市民の会久米ブ
ロックとの合同開催で行いました。3
年前にも同事業を行い好評で、今回も
多くの感動の感想をいただきました。

今年度予定通り行えなかった事業も
ありますが、これまでの文化活動や会
員同士の絆をさらに深め、また、新た
な活動ができる文化協会となるよう新
年度を迎えたいと思います。



令和4年度 くすのき賞

おめでとうございます。

(団体)

津山民芸協会



受賞のことば

この度は
栄えある
「くすのき
賞」をいた
だき、大変
光栄に存じ
ます。

津山民芸
協会は50年
以上に発
足し、多く

の人々が関わってきましたが、現在は津山市を中心に、県北に関係する12名の会員が所属し、それぞれの作品を製作しております。

毎月の例会、年1〜2回の展示販売

会をはじめ、研修視察やワークショップ等を行っております。



今回の受賞を機に会員自らが精進すると同時に、会として相互に協力・連携を深め、多くの人々にモノづくり、手づくりの楽しさを素晴らしさを知ってもらいよう努めてまいります。



後記

津山市文化連盟会報第17号の発刊にあたり、各文化協会の皆様には、ご多忙の折にもかかわらずご協力を賜り、誠にありがとうございました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初計画していた事業の中止や縮小を余儀なくされてきましたが、各文化協会では、現状に甘んじること無く、工夫を凝らしながら様々な活動を実施されています。改めて芸術文化は、いつのときもゆとりと潤いをもたらし、心豊かな生活に不可欠なものであると感じているところです。

マスク着用などの感染対策も徐々に緩和され、国全体でアフターコロナに向けた活動が始まり、芸術文化の分野においてもその動きがより活発になることが予想されます。

津山市文化連盟は令和7年に結成20周年を迎えます。この記念すべき年に向かって、今後も津山の芸術文化の振興・発展のために活動してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(事務局)

津山文化

発行 津山市文化連盟

事務局

津山市観光文化部
文化課内

印刷 津山朝日新聞社

令和5年3月発行